

男女共同参画に関するアンケート調査結果

男女共同参画・女性の活躍推進課

1 調査目的

県では、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進していくため、「岐阜県男女共同参画計画」を策定しています。男女共同参画に対する県民の皆さんの意識や実態を把握し、今後の施策展開に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター967人(うちインターネットモニター634人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和3年8月10日～8月30日

回収結果: 715人(回収率73.9%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 新型コロナウイルス感染症拡大前後での変化

【不安が増していること】

感染症の拡大前に比べて増している不安は、「健康に関する不安」が64.3%と最も高く、次いで「将来に対する全般的な不安」、「生活の維持、収入に関する不安」、「人間関係、社会との交流に関する不安」がそれぞれ約4割となっている。

【働き方】

感染症の拡大前に比べて、「変化は無い」が53.3%と最も高く、次いで「労働時間の減少」が22.7%となっている。

【夫妻間の役割】

感染症の拡大前に比べて、「変化は無い」が68.4%と最も高く、次いで「夫・妻ともに役割が増加」が11.0%となっている。

○ 男女共同参画社会の実現に向け、必要なこと

「夫婦や家族間のコミュニケーションを良く図ること」が62.8%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと」、「労働時間の短縮や休暇を取りやすい環境を整備することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」がそれぞれ5割を超えている。

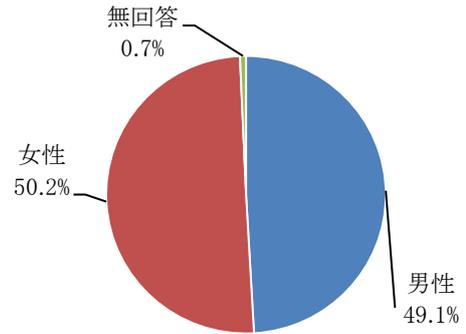
○ 男女共同参画社会の形成に向け、県や市町村が力を入れるべきこと

「男女共同参画に関する幅広い情報の提供を行う」が48.5%と最も高く、次いで「男女が共に家事・子育て・介護を行うための施策を推進する」、「男性に対して、慣習の見直しなどの意識啓発を行う」、「学校教育や生涯教育の場で、男女共同参画についての学習を充実させる」がそれぞれ4割を超えている。

4 回答者属性

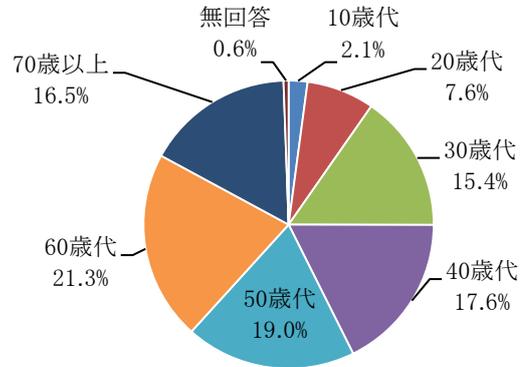
(1) 性別

	人数	割合
男性	351	49.1%
女性	359	50.2%
無回答	5	0.7%
計	715	100.0%



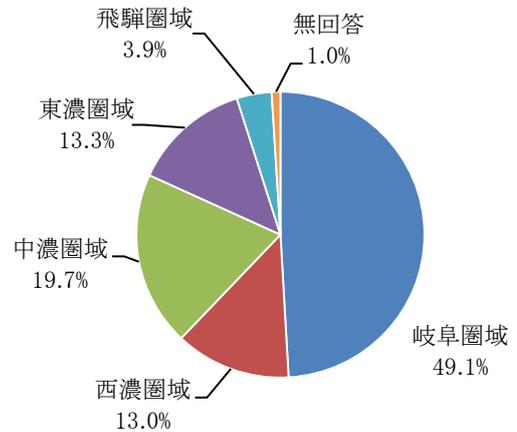
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	15	2.1%
20歳代	54	7.6%
30歳代	110	15.4%
40歳代	126	17.6%
50歳代	136	19.0%
60歳代	152	21.3%
70歳以上	118	16.5%
無回答	4	0.6%
計	715	100.0%



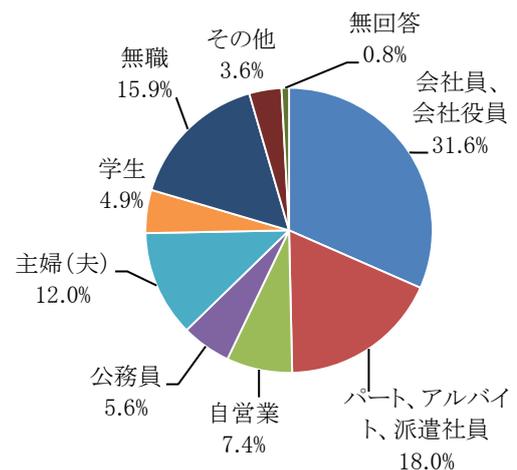
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	351	49.1%
西濃圏域	93	13.0%
中濃圏域	141	19.7%
東濃圏域	95	13.3%
飛騨圏域	28	3.9%
無回答	7	1.0%
計	715	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	226	31.6%
パート、アルバイト、派遣社員	129	18.0%
自営業	53	7.4%
公務員	40	5.6%
主婦(夫)	86	12.0%
学生	35	4.9%
無職	114	15.9%
その他	26	3.6%
無回答	6	0.8%
計	715	100.0%

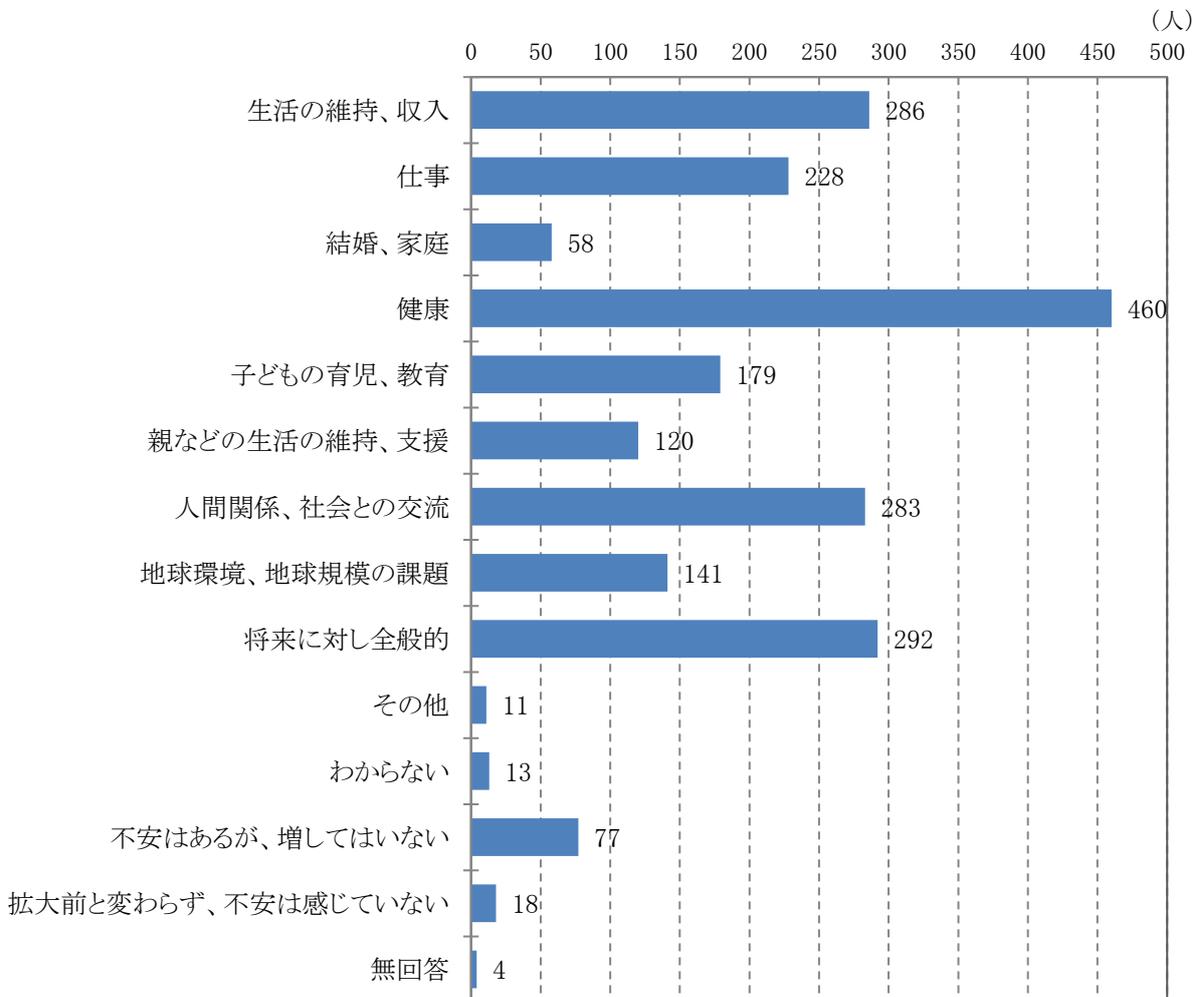


5 調査結果

問1 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて不安が増していることはありますか。

(回答者715人・複数回答)

	回答数	割合
生活の維持、収入に関する不安	286	40.0%
仕事に関する不安	228	31.9%
結婚、家庭に関する不安	58	8.1%
健康に関する不安	460	64.3%
子どもの育児、教育に関する不安	179	25.0%
親などの生活の維持、支援に関する不安	120	16.8%
人間関係、社会との交流に関する不安	283	39.6%
地球環境、地球規模の課題に関する不安	141	19.7%
将来に対する全般的な不安	292	40.8%
その他	11	1.5%
わからない	13	1.8%
不安はあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大前から増してはいない	77	10.8%
新型コロナウイルス感染症の拡大前と変わらず、不安は感じていない	18	2.5%
無回答	4	0.6%
計	2,170	-



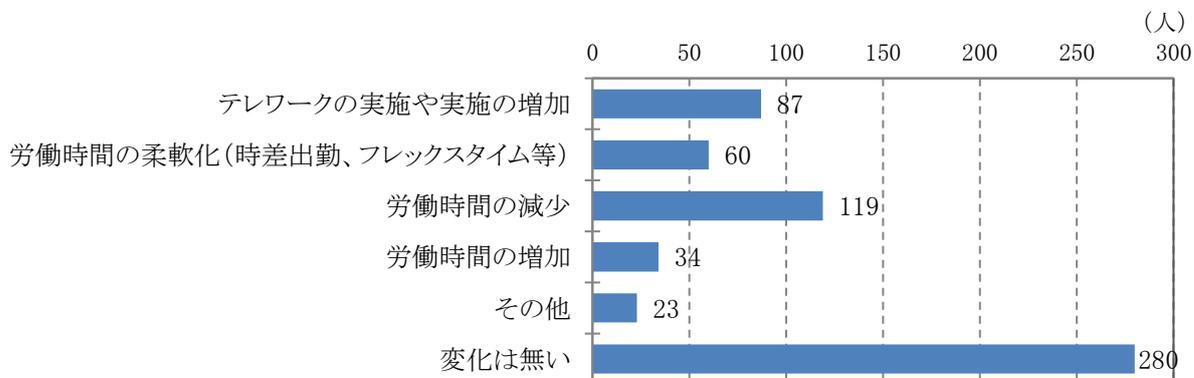
「その他」の意見

- ・ 妊娠、出産に関する不安
- ・ デジタル化・AI化に関する不安
- ・ 学業に関する不安
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大やワクチン接種に関する不安

問2 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、あなたの働き方に変化はありましたか。

(就業している方／回答者525人・複数回答)

	回答数	割合
テレワークの実施や実施の増加	87	16.6%
労働時間の柔軟化(時差出勤、フレックスタイム等)	60	11.4%
労働時間の減少	119	22.7%
労働時間の増加	34	6.5%
その他	23	4.4%
変化は無い	280	53.3%
計	603	-



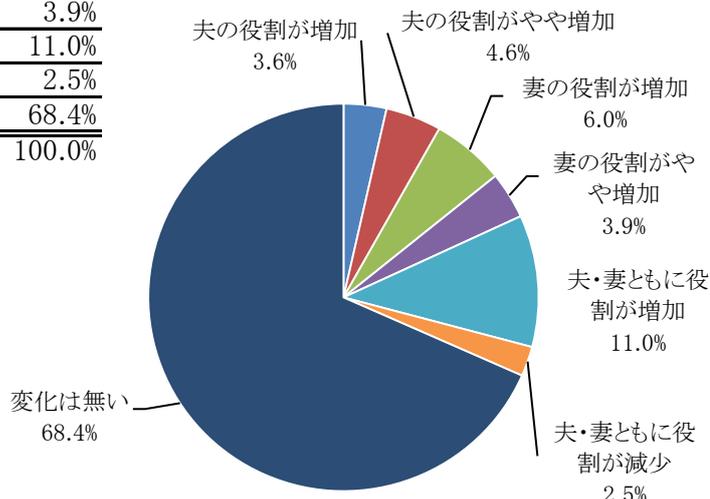
「その他」の意見

- ・ ICT活用能力が向上した
- ・ 労働時間の増加はないが、業務内容が増えた
- ・ 出張の減や中止
- ・ アルバイトが出来なくなった
- ・ 飲食店のため、働きたくても働くことができない
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底(マスクの着用、ソーシャルディスタンスなど)

問3 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、家事・子育て・介護・地域活動に関する夫妻間の役割に変化はありましたか。

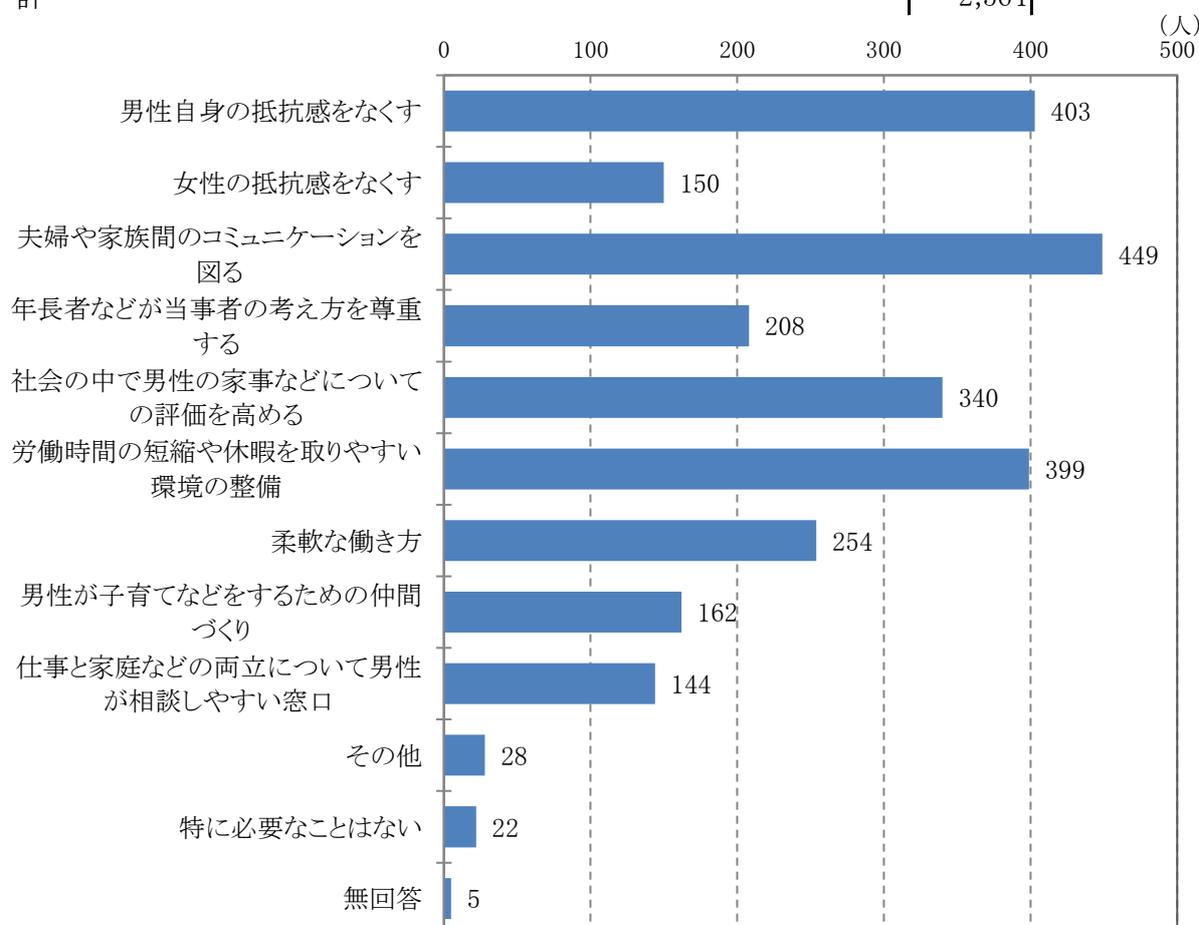
(配偶者(パートナー※事実婚を含む)がいる方／回答者563人)

	人数	割合
夫の役割が増加	20	3.6%
夫の役割がやや増加	26	4.6%
妻の役割が増加	34	6.0%
妻の役割がやや増加	22	3.9%
夫・妻ともに役割が増加	62	11.0%
夫・妻ともに役割が減少	14	2.5%
変化は無い	385	68.4%
計	563	100.0%



問4 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(回答者715人・複数回答)

	回答数	割合
男性が家事などに参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと	403	56.4%
男性が家事などに参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと	150	21.0%
夫婦や家族間のコミュニケーションを良く図ること	449	62.8%
年長者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について、当事者の考え方を尊重すること	208	29.1%
社会全体で、男性が家事、子育て、介護、地域活動をするについて、評価を高めること	340	47.6%
労働時間の短縮や休暇を取りやすい環境を整備することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	399	55.8%
在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方が可能になること	254	35.5%
男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間づくりを進めること	162	22.7%
仕事と家庭(または地域活動)の両立などについて男性が相談しやすい窓口があること	144	20.1%
その他	28	3.9%
特に必要なことはない	22	3.1%
無回答	5	0.7%
計	2,564	-

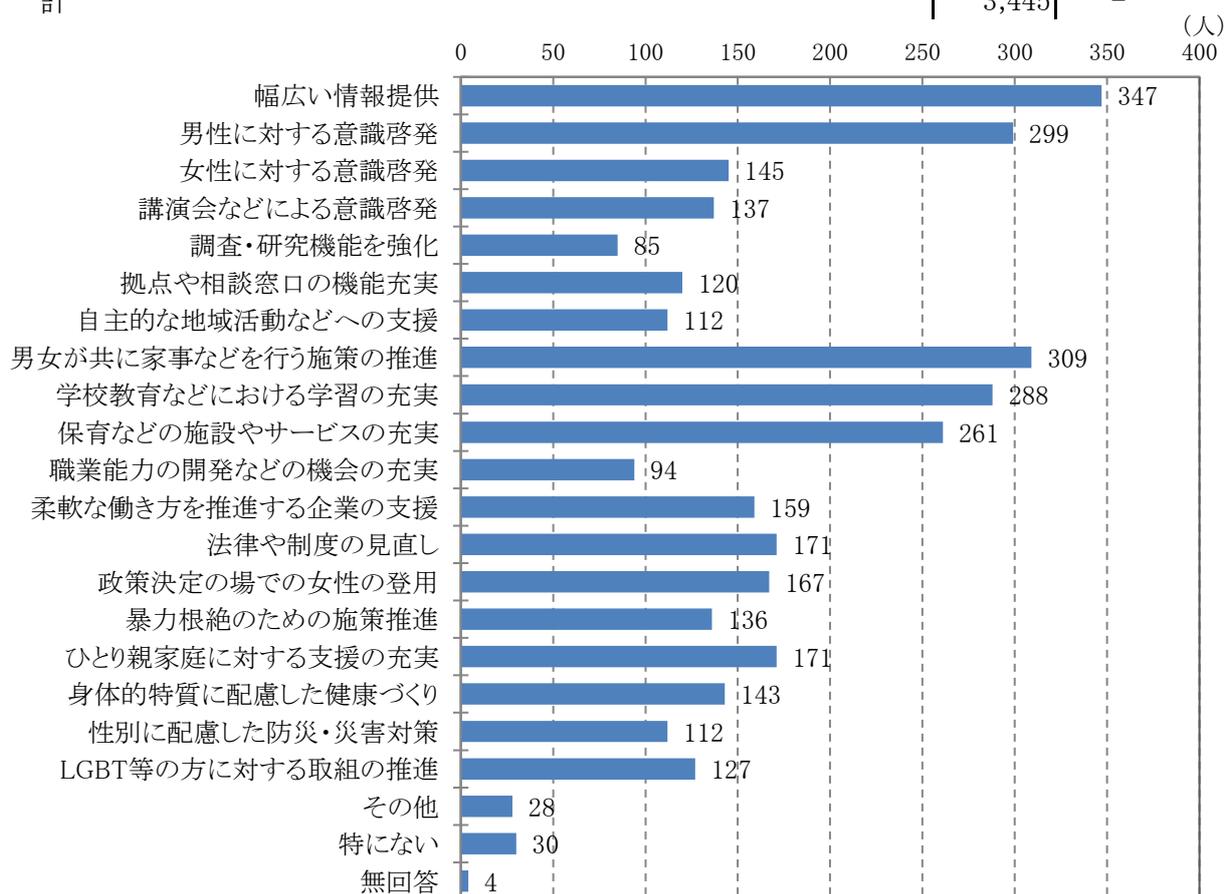


「その他」の意見

- ・ 男性、女性の意識改革
- ・ 幼少期からの教育やしつけ、年配者への啓蒙活動
- ・ 収入の保障
- ・ 会社・上司や同僚の理解
- ・ 子供を預かるサービスの充実

問5 「男女共同参画社会」を形成していくために、今後県や市町村はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
(回答者715人・複数回答)

	回答数	割合
男女共同参画に関する幅広い情報の提供を行う	347	48.5%
男性に対して、慣習の見直しなどの意識啓発を行う	299	41.8%
女性に対して、慣習の見直しなどの意識啓発を行う	145	20.3%
講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催により、男女共同参画に関する意識啓発を行う	137	19.2%
男女共同参画に関する調査・研究機能を強化する	85	11.9%
男女共同参画推進のための拠点や相談窓口の機能を充実させる	120	16.8%
自主的な地域活動やボランティア活動を支援する	112	15.7%
男女が共に家事・子育て・介護を行うための施策を推進する	309	43.2%
学校教育や生涯教育の場で、男女共同参画についての学習を充実させる	288	40.3%
保育、医療、介護の施設やサービスを充実させる	261	36.5%
職業能力の開発や、職業訓練機会の充実を図る	94	13.1%
テレワーク等、デジタル技術を活用し、多様で柔軟な働き方を推進する企業を支援する	159	22.2%
男女共同参画に関する法律や制度の見直しを行う	171	23.9%
女性を政策決定の場に積極的に登用する	167	23.4%
女性に対する暴力を根絶するための施策を推進する	136	19.0%
ひとり親家庭に対する支援を充実させる	171	23.9%
男女の身体的特質に配慮した健康づくりを推進する	143	20.0%
性別に配慮した防災・災害対策に取り組む	112	15.7%
LGBT等の方に対する取組を推進する	127	17.8%
その他	28	3.9%
特にない	30	4.2%
無回答	4	0.6%
計	3,445	-



「その他」の意見

- ・ 市町村のリーダーが積極的に家事、育児、介護に参加すること
- ・ 会社の上司や政治家の意識改革
- ・ 企業経営者層、地域活動の上層部への意識啓発
- ・ 保育園、小学校からの教育
- ・ 非正規雇用に対しても正規雇用と同等の休暇制度を設ける
- ・ 給料を上げる
- ・ 残業や副業をしなくても子どもが大学まで通えるような収入保障等をしてほしい
- ・ 男性に対する暴力を根絶するための施策の検討
- ・ 社会が子育てしやすく、仕事も休みを取りやすくする

問6 その他、男女共同参画社会の実現に向け、ご意見などがございましたら
お聞かせください。

(主なもの)

[広報・啓発]

- ・ 男女共同参画社会という考え方は年令により大きく感じ方が違うと思われるため、年令層別にアピールした方がよい
- ・ 「男女共同参画社会」について、住民・県民に周知することが基本
- ・ 不妊治療や妊娠中のサポートや、男性の長期の育児休暇に取り組んでいる会社に対する支援金やネットでの公表など、大々的な表彰を県として取り組んでほしい

[法・制度]

- ・ 新しい婚姻・パートナー制度の法制化
- ・ 男女の意識改革と法や条例などの社会環境の整備を同時進行していく
- ・ 給料格差の是正
- ・ 男性が子育てや介護に関われるように、休暇制度を整えてほしい
- ・ 男性の育休等の制度や子育てにかかる女性の負担を軽減する為の制度について、社会全体で考え直すべきだと思う
- ・ 国会議員に70歳定年制を導入し、若者に未来を託す
- ・ 格差社会の是正

[支援]

- ・ ひとり親家庭への支援
- ・ 新卒採用の見直しや結婚による退職後も採用してもらえるような仕組みづくりなど、企業の働き方改革を推進する
- ・ 労働環境を整備する取り組みが有効だと思う
- ・ 男性が家事ができるように料理教室や育児支援をさらに充実させる
- ・ 近年、女性の男性に対するDVも増えているため、女性だけでなく男性も相談できるよう支援をするべき
- ・ 正社員で働かか働かないかの選択ではなく、働く時間なども含め、選択肢が広い働ける環境を行政で後押ししていただきたい

[意識改革]

- ・ 男女の評価を平等に行うように企業の認識を改めさせる
- ・ 男性が仕事、女性は家という考え方が日本人には根強いので、その慣習をどう取り除いていくのか、社会全体の考え方の変化が必要
- ・ 女性の役割が増えて、思いが公の場で語られるのは大切だが、権利、義務、責任は必ず同等との認識でもって、その上でお互いの役割が出来るのがよい

[教育]

- ・ 男性も料理や家事、育児の教育(学校教育)を当たり前のように授業に組み込む

[女性登用・参加]

- ・ 自治会やPTAの役員に女性を登用するよう行政が強く働きかける
- ・ 諸外国(特に欧米)に比べて女性政治家の数が圧倒的に少ないため、女性の政治参加を活発にするための助成金制度ができないだろうか
- ・ 公務員や県庁、市役所などの管理職に女性を起用する

[その他]

- ・ 50代以上の男女問わず、時代が変わってきていることを体感してもらい講座、講演を開く
- ・ 「男女共同参画社会」の講演会や座談会等の実施に向けた検討をお願いしたい
- ・ 男女共同参画社会ではなく、ジェンダーレス社会など今の言葉に合った名称を役所として積極的に使うよう、変わってほしい